

水橋診療所 だより	<h1>水のまち</h1>	富山市水橋館町59-1 発行責任者 金崎照雄 電話 479-1414
--------------	---------------	--



あけましておめでとうございます
 ことしもどうぞよろしくお願ひ申しあげます



新年いかがお過ごしでしょうか。

日頃の生活の中で、休養、睡眠、保温、食事、運動にくわえて人生を楽しむ気概も大切ですかね。「いいじゃあないの～」の飽食の寝正月は「ダメよダメダメ」で、気持ちも新たに健康の維持増進。かぜ、インフルエンザ、胃腸炎に対抗しましょう。

さて、昨年の漢字は「**税**」でした。消費税増税は「先送り」されました。医療機関の話していれば医療費は非課税で、患者さんは消費税は払わないのでそれにかかった仕入れの税を差し引けません。消費税分は自腹ということです。これを「損税」といいます。上がるほど困ることになります。診療報酬のアップはとてども8%を埋められません。中小業者は仕入れ税を差し引けますが、価格に上乘せは困難なので、実質は赤字でも3月にはドンと納税がのしかかります。かぜをひかなくても庶民は「ヒーヒー 税税」。

一方、巨大企業さんたちは、みずほのように純利益が1兆2千億あるのに、法人税は優遇措置で2億2千万で0.02%です(この5年間)。日本の全減税額の47%が資本金100億以上のメガ企業への減税(2012年)だということをご存知でしょうか。10%どころか消費税そのものが弱いものいじめ税。社会保障に使うといえはなんとなく「いいじゃあないの～」で与党に入れた人も多かった選挙ですが、「羊頭狗肉」。この20年、負担が増えただけの医療介護だったのにいつまでお人よしを続けるのでしょうか。

でも、今回増税だけでなく、戦争準備を急ぐ法案が次々と通ることや、同調する野党にも「ダメよダメダメ！」と投票したひとも多かった。これは国民の「希望」じゃないですか。アンパンマンの作者、やなせたかしさんは、「絶望のとなりは希望です」といいました。絶望と希望とのたたかいとまでは言いませんが、子ども、若者、おとうさん、おかあさん、お年寄りという庶民のくらしにしっかり寄り添う「道」こそ太くなくてももらいたい。

そういう年になるように、「健康をつくる。平和をつくる」医療生協の一隅でことしも精進したいとおもいます。職員一同になりかわりまして新年のご挨拶とさせていただきます。

水橋診療所 所長 金崎照雄



通所リハビリのびのびでは、12月24、25日の2日間クリスマス会を開催しました。利用者の方には、リハビリも兼ねてケーキ作りをお願いしました。手慣れた手つきの方、お菓子作りは初めてという方など様々でしたが、皆さん一生懸命取り組んでおられました。おかげで、見た目もかわいく手作り感たっぷりパンケーキが出来上がりました。

また、オレオレ詐欺を題材とした職員劇では、利用者の方々からは笑い声や「騙されるよ」と

クリスマス会でパンケーキ作り
のびのび



よ、「ハンコ押ししたら、ダメダメ」などの声が上がりました。劇の最後には、詐欺にあわなないために気をつけなければならぬ事を皆で確認しました。

その後、手作りのケーキを美味しくいただき、大好評のうちにクリスマス会を終えることが出来ました。

これからのもののびのびでは利用者の方々に楽しんでいただける催しを企画していきます。

介護員 高井芳美